

〈執筆者紹介〉

清水 聡（しみず そう）

1973年生まれ。明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻博士後期課程修了。博士（政治学）。明治大学政治経済学部専任助手，青山学院大学総合研究所客員研究員，法政大学社会学部兼任講師を経て，

現在：明治大学政治経済学部兼任講師，青山学院大学非常勤講師，玉川大学非常勤講師，東京家政大学非常勤講師。専門は，国際政治学，ドイツ冷戦史，EU研究。

主な論文・訳書に，

『国家のゆくえ——21世紀世界の座標軸』（共著，芦書房，2001年）

『国際政治から考える東アジア共同体』（共著，ミネルヴァ書房，2012年）

『法社会学の基礎理論』（共訳，法律文化社，2012年）

『移民・マイノリティと変容する世界』（共著，法政大学出版局，2012年）

『EU（欧州連合）を知るための63章』（共著，明石書店，2013年）

『冷戦史を問い直す——「冷戦」と「非冷戦」の境界』（近刊）（共著，ミネルヴァ書房，2015年）